

社会資本総合整備計画(市街地整備)

良好な自転車利用環境の創出 事後評価書

かながわけんやまとし
神奈川県大和市

平成27年10月

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成27年10月30日

計画の名称	良好な自転車利用環境の創出														
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象	大和市								
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康志向の高まりや低炭素社会構築への社会的な要請から、良好な自転車利用環境整備を行い、市民の健康や低炭素社会の創出に資する。 コミュニティサイクルシステムの検討、自転車通行空間整備など、自転車の利用環境に関する施策の連携を図る。 														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 車道（自転車通行空間）における自転車の通行台数の割合を整備前と比べ、10%増加させる。 														
定量的指標の定義及び算定式											備考				
	自転車の通行台数を測定する。										定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値 (H22当初) 28% 中間目標値 — 最終目標値 (H26末) 38%				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	253.1 百万円	A	247.3 百万円	B	0.0 百万円	C	5.8 百万円	D	0.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	2.3%			
○事後評価の実施体制、実施時期															
事後評価の実施体制							事後評価の実施時期								
策定主体にて実施							平成27年10月								
							公表の方法								
							大和市道路安全対策課ホームページにて公表								
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-A-1	交通	一般	大和市	直接	大和市	大和市都市交通システム整備事業	自転車利用環境整備計画策定	大和市						13.0	
1-A-3	交通	一般	大和市	直接	大和市	大和市都市交通システム整備事業	自転車通行空間の整備(8駅周辺他)	大和市						234.3	
合計												247.3			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計												0.0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-3	交通	一般	大和市	直接	大和市	コミュニティサイクル社会実験	サイクルポート設置箇所の検証	大和市						5.8	
									合計					5.8	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-3	実施エリアにおけるコミュニティサイクルの利用のあり方や有効性について検討するとともに、本格実施に向けサイクルポートの有効な設置箇所の検証を行う。このことにより、利用されやすいコミュニティサイクルシステムの構築ができ、マイカーからの転換による環境への配慮や放置自転車の抑制が期待できる。	

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
									合計						

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		安全で快適な自転車通行空間を整備したことにより、車道（自転車通行空間）を通行する自転車の割合が増加した。										
II 定量的指標の達成状況	指標①（都市機能更新率）	最終目標値	38.0%	目標値と実績値に差が出た要因	ハード面の整備を進めるとともに、自転車マナーに関する啓発活動等、ソフト面の施策を併せて行ったことにより、目標値を大きく上回ることができたと考えられる。							
		最終実績値	48.0%									
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> 自転車での移動がしやすくなったことで、自転車による外出機会の創出に寄与した。 自転車と歩行者の分離が図られたことにより、同時に安全で快適な歩行空間の確保ができた。 										

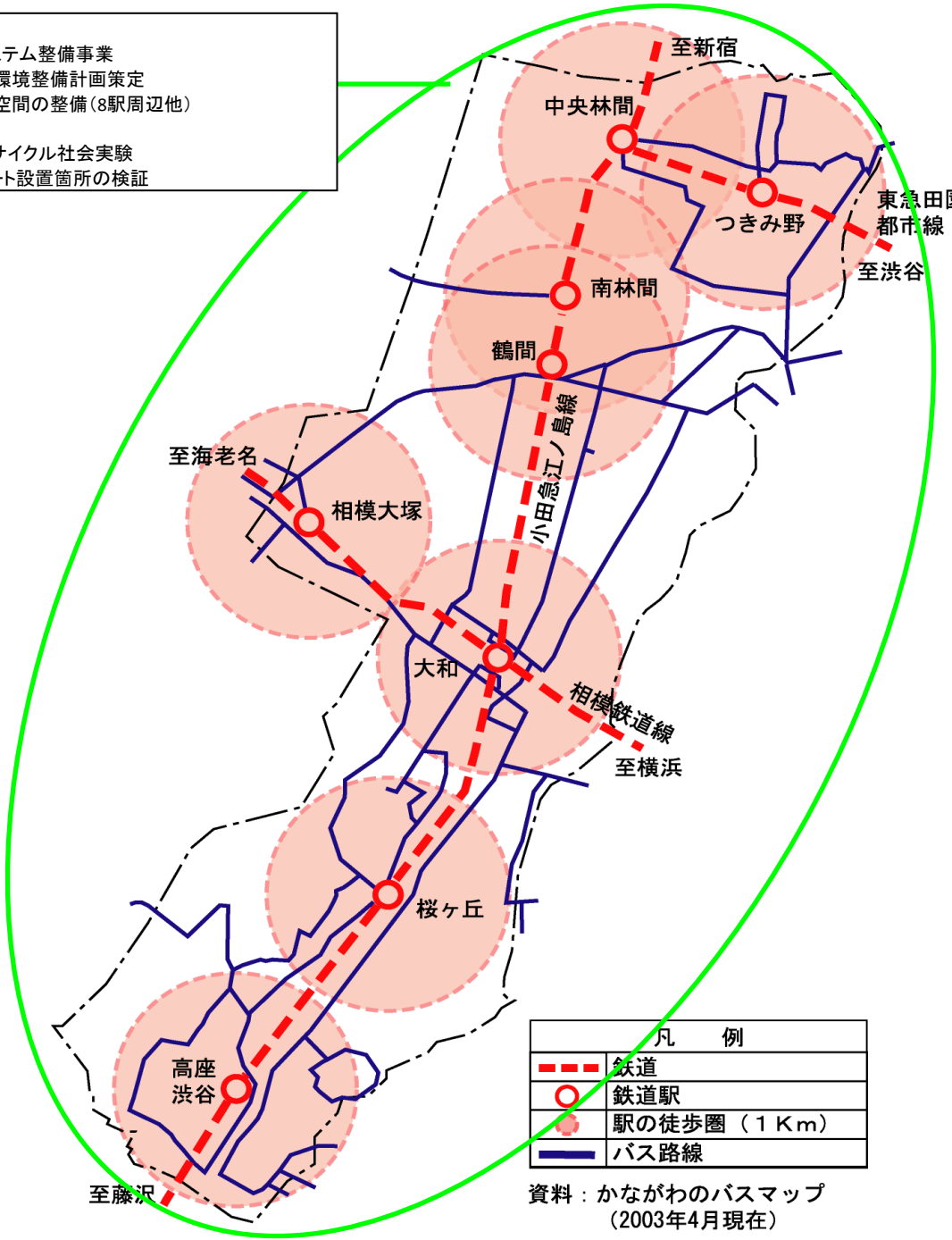
3. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 自転車での外出機会が増えることによる駐輪場の不足等の問題について、今後検討していく必要がある。 今後も引き続き、自転車通行空間の整備を進めるとともに、自転車利用者のマナー啓発に努めていく。 												
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(参考図面)

計画の名称	1 良好な自転車利用環境の創出	交付対象	大和市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		

基幹事業
 大和市都市交通システム整備事業
 1-A-1 自転車利用環境整備計画策定
 1-A-3 自転車通行空間の整備(8駅周辺他)
 効果促進事業
 1-C-3 コミュニティサイクル社会実験
 サイクルポート設置箇所の検証



凡 例	
---	鉄道
○	鉄道駅
●	駅の徒歩圏(1Km)
—	バス路線

資料：かながわのバスマップ
 (2003年4月現在)

